

品質問題に係わる市場措置届出完了のご報告について

一連の品質問題につきましては、お客様及び社会の皆様にご多大な御迷惑をお掛け致しましたことを改めてお詫び申し上げます。

同問題につきましては、昨年3月のハブのリコール届出以降、昨年6月14日に「47案件」、本年2月2日に「102案件および拡大調査結果」さらに本年6月14日に「継続検討中案件(オンゴーイング)」を公表致しました。それらの市場措置届出を順次進めた結果、本日届出を完了致しましたので、ご報告申し上げます。

過去の品質問題における最終的な届出件数は98件のリコールおよび1件の改善対策で、対象台数は登録台数ベースで約94万台(重複除く)となりました。

今後は確実な作業で届け出た対象車両の市場措置を完了させることに全力で取り組んでまいります。

記

1. 品質問題市場措置の内訳

ハブ案件、47案件、102案件、拡大調査案件、継続検討中案件(オンゴーイング)の再リコールと遅れ案件のリコールおよび改善対策の届出件数、対象台数等の概要は以下の通りとなります。

(1)届出件数

リコール	98
改善対策	1

(2)対象台数(登録台数ベース)

(ホイールカバー装着時保安基準不適合[届出番号1502]はオプションで台数不明のため除く)

	登録台数	<ご参考>届出台数 (生産台数)
重複を除く	約94万台	約151万台
延べ台数	約200万台	約289万台

(3)生産期間(ホイールカバー装着時保安基準不適合[届出番号1502]はオプションで台数不明のため除く)

1974年7月～2005年6月

(ご参考)

区分	ハブ案件	47案件	102案件	拡大調査案件	継続検討中案件 (05/6/14公表)		計	継続検討中案件 (05/6/14公表)	合計
					再リコール	遅れ案件			
リコール届出済み (統合案件)	4	42 (3)	19 (5)	18	2	13 (1)	98 (9)	14	112 (9)
改善対策届出済み	0	1	0	0	0	0	1	3	4
届出不要()	0	0	0	1	0	1	2	2	4

公表はしましたが、その後の検討により市場措置不要と判断したもの。
尚、大型トラック Vロッド不具合(R1234、R1415)は本表には含みません。

2. V ロッド不具合について

本年4月15日に再リコールを届出しましたが、その後改修作業のミスが生じ、お客様始め、皆様にご迷惑とご心配をお掛け致しました。すでにご説明申し上げましたが、8月4日以降に作業者の専任化と登録制、徹底したダブルチェック等、教育並びに指導を徹底致しております。

尚、リコール作業の実施状況は9月23日現在で93%となっております。

3. リコール作業の実施状況（9月23日現在）

最重要項目である11案件（「フロントハブ」1件と「47案件」の内の10件）では92%に達しました。尚、47案件については73%になります。本日届出した案件も含めた合計98件のリコール作業の実施率は62%、115万台が措置完了しています。

リコール作業の実施率の目標として、「47案件、102案件、拡大調査」案件を今年12月末に80%、来年3月末に約90%を達成するように取り組んでおります。

4. 品質・安全に対する当社の取り組み

社長メッセージでも申し上げた通り、もう一度皆様から信頼していただけるように、今後は開発から製造、販売、サービスに至る全ての企業活動において、徹底した「品質重視」と「安全第一」を実行し、弊社の製品を安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

そのためには、本年1月24日に公表した再発防止の改善策の確実な実行とともに、継続的な改善を図ってまいります。

「現在の主な取り組み事例」

お客様視点の徹底

開発部門社員の販売会社研修制度の実施や販売会社社員の弊社CFT活動の参加等を通して、メーカーと販売会社の人事交流によってコミュニケーションの強化を図っております。今後、さらにこのような活動を拡大し、お客様との距離をさらに短くしてまいります。

品質保証部門の強化

品質保証部門の人員は04年3月に62人でしたが、現在約2倍の112人となっており、さらに年内には133人に増やし、品質情報の迅速な対応に加え、商品の品質改善はもとより、開発、生産、販売、サービスに至る全社横断的な品質改善活動の定着の促進を図っております。

品質情報の透明性確保

品質情報を取り扱う会議には販売会社、社外エンジニア、社外倫理委員の方々が必要に応じて参加し、社外からの視点も取り入れる仕組みとしました。

また、品質保証部門の事務所環境もオープンな作りとするとともに、品質会議においては担当者会議でも役員会議でも全て、同じオープンスペースで行っております。そして、誰もがその会議を見る事が可能で、参加者の気持の上でもオープンな話し合いができるようにしています。

以上